

洛東の丘

～校長室から 洛東生の皆さんへ～
令和3年2月26日(金)第33号

今週の四字熟語

平穩無事(ヘイオンブジ)

穏やかで変わったことがないような、落ち着いた状態



☆卒業証書授与式☆

来週の月曜日は、3年生の卒業証書授与式です。例年なら多くの御来賓の方々や保護者の皆様にお越しいただき、卒業生の皆さんの門出をお祝いをする日です。しかし、今年もコロナ禍ということで、御来賓の御臨席は御遠慮いただき、保護者の皆様には一家族一名と限定させていただくというお願いをしました。在校生もクラス代表などの形で参列をお願いするところですが、今年も送辞の生徒会長のみとしました。さらに卒業生諸君の表彰等についても呼名のみ、私の式辞も短縮版とし、密を避けたうえで時間も短縮という形としました。

このように式の形は本来のものとは異なりますが、卒業生の皆さんにとってとても大切な日であることに代わりはありません。「卒業証書授与式」の一日は一生に一度のものであり3年間の高校生活、そして教育活動の集大成なのです。私たち教職員は心を込めて卒業生の皆さんを送りたいと思います。在校生の皆さんも、自宅学習日となっていますが、「特別な日」と捉え心穏やかに先輩へ思いを馳せてほしいと思います。

♠卒業生の門出に ～挨拶のできる人に～ ♠

式の当日に「式辞」としてはなむけの言葉を贈りますが、ちょっと難しい話ですので、この紙面では少し柔らかなメッセージを記したいと思います。

表題にも書きましたが、「挨拶ができる」ということは世の中のを渡っていくうえでとても大切なことです。こんなことは今まで耳にたこができるほど聞いてきたと思いますが・・・しかし、私がここで言いたいのは「ふたこと挨拶」です。それは、「おはようございます」や「こんにちは」という普通の挨拶のあとに、「今日は良いお天気ですね」や「いつまでも冷えますね」などと、次の一言を加えるということです。もしくは、「言葉」ではなく、軽い会釈や微笑みでも良いと思います。こういった挨拶ができるようになることで、おそらく世界が変わります。それは人と心が通うようになるからです。つまり、交わした挨拶が「その場だけの儀礼的なもの」ではなく「次のチャンスにつながる、或いは広がるもの」となるからです。そして何よりそういったことを心がけるようになる自分自身に「心力」がつくからです。

どうぞ皆さん、卒業を機に「ふたこと挨拶」を始めてみてください。



